

## 「コンテキスト解析から見える 10 代の妊娠の背景」

～メール相談を展開する支援団体を支えるために専門家ができること～

解析協力：群馬大学医学部附属病院システム統合センター 鳥飼 幸太  
調査報告書執筆：群馬大学男女共同参画推進室 長安めぐみ  
(NPO 法人デート DV 防止全国ネットワーク 理事)

### ○コンテキスト解析は貴重なエンティティ抽出のための「魔法の箱」

「コンテキスト解析」とは、あまり聞きなれない用語である。筆者も半年前までは、未知の世界であった。現在、情報通信技術 Information and Communication Technology (ICT) を活用したビックデータの解析技術は、人工知能 Artificial Intelligence (AI) によって日々飛躍的に進化を遂げている。特に、経済分野のマーケティングアンケートや医学分野のカルテ等において、大量のテキスト(文章)から、いかに迅速に正確な意味のある規則的な情報である意味のある単語、Entity (エンティティ) を発見していくかは、消費の動向やリスク管理のために重要な課題になっている。世の中には、集めたものの未だ眠っている貴重なデータがたくさん存在する。経験的に言うならば、10 年前に内閣府の協力を得て、民間団体がデート DV の電子掲示板を運営していたが、貴重なその電子データを「グラウンデッド・セオリー・アプローチ」解析を用いて分析したため、膨大な手作業での解析作業で苦慮した。DV や虐待の予防等に取り組む民間団体は、日々の相談支援や予防教育の中で、大量の貴重なデータを得るが、それを解析する技術と時間、お金がない。

今回は、群馬大学の数理技術を持つ研究者の協力を得て、「にんしん SOS 東京」が行っている「妊娠葛藤相談」で蓄積された相談から、10 代の当事者と相談員の対話ログ(メールのやり取り等)をピックアップし、コンテキスト解析(自然言語処理の手法)を利用した分析を試みた。

### ○「にんしん SOS 東京」が向き合っている「妊娠葛藤相談」とは何か？

「にんしん SOS 東京」は、ウェブサイトには設置された相談フォームから、直接メール相談を実施できるようにし、相談の内容は、対応した相談員が「相談記録システム」に記録し、すべての相談員が共有できるようにしている。そのため、安心して相談する相手を持たない若年の高校生にとって、継続的に匿名性を保ちながら相談できる、敷居の低い相談窓口として効果をあげている。

デート DV の被害者にかかわった支援者は、性的な暴力や支配が、被害者に致命的なダメージを与えることを常々経験させられる。本来、家族以外で信頼できる親密で密接な人間関係が「恋愛」である。DV もデート DV も、掛けがえのない好きな人、愛する人、大切な人との関係を「支配と暴力」で破たんし追い込む。「にんしん SOS 東京」が担っている「妊娠葛藤相談」は、「妊娠したかもしれない」妊娠にまつわる全ての「困った」「どうしよう」に寄り添う相談である。今回のデート DV 白書のテーマに示したとおり「10 代の妊娠とデート DV」のかかわりを「にんしん SOS 東京」のメールによる対話のやり取りから計量化し読み取っていく。